

第一回 ゆうしん三ヶ名 運営推進会議

議事録

平成 28 年 10 月 26 日 (水)

議題	内容
代表取締役 開会のあいさつ	
保険者・包括支援センターから	地域密着型通所サービスとは、焼津市在住の方が利用対象の通所介護 H28年4月1日から18人以下の小規模の施設が地域密着型に移行した。 地域密着型へ移行し、運営推進会議を年2回実施。 地域の方々との垣根を無くし、協力関係を築いていく。 包括支援センターは焼津市内に4カ所あり、65歳以上の方を対象に 介護・医療等の相談を受け付けている。何か困り事などありましたら 包括センターの方へお越してください。
現状説明・活動内容	H28年9月の稼働実績の説明・人員配置及び職員数説明 看護師が半日勤務の時あるが、常に連絡が取れる体制になっている。 年2回防災訓練実施している。応急救護や消火訓練、避難地まで実際に移動 するなど、地震・火災だけではなく風水害も想定して訓練実施。 デイでの1日の流れを説明し、レクレーションの内容も説明。 不定期開催だが、お茶会として喫茶店などへ飲食しに出掛けたり、 名所巡り・花見など実施。天候が良い時には近所を散歩し、四季の移り変わりを 楽しんでいる。

書記

西山

議題	内容
地域の皆様からの意見	民生委員: 毎日宿泊される方は同じ人たちですか？また、7人を1人で
	看ているのはどこの施設でもそうなんですか？
	ゆうしん: 毎日同じ方ではなく、日によって人数やメンバーは変わる。
	どこの施設でも数人の利用者様に対して1名で夜間看ている。
	民生委員: 災害時、近所の方たちに避難等の手伝いを依頼しなければ
	ならないが、普段から声を掛けていますか？
	ゆうしん: 以前から近所の方たちには声掛けし、依頼しています。
	長寿福祉課: 普段から子供との交流はありますか？
	ゆうしん: スタッフの子供や、利用者様ご家族のお子様に来て交流されている。
	近所の保育園等とも交流する機会を作っていきたいと思っている。
	長寿福祉課: 利用者様はどのくらいのペースで通われていますか？
	ゆうしん: 週1回だったり、毎日だったり様々です。
	長寿福祉課: 利用者様代表の方は、1日の中で何が楽しみですか？
	利用者様代表: ご飯だね。あとはお風呂！
	包括支援センター: この施設の辺りは、水害はどうですか？
	ゆうしん: 昨年、裏にある川が溢れそうになり、避難警報が出たことがある。
	津波も0.5m未満だが来る恐れがある。
	緊急時には高架など少しでも高い場所への避難を想定している。
代表取締役 閉会のあいさつ	開設して5年経つが、まだまだ試行錯誤しながら運営している。
	これからも皆様の力を借りながらより良い施設を目指して運営していきます。